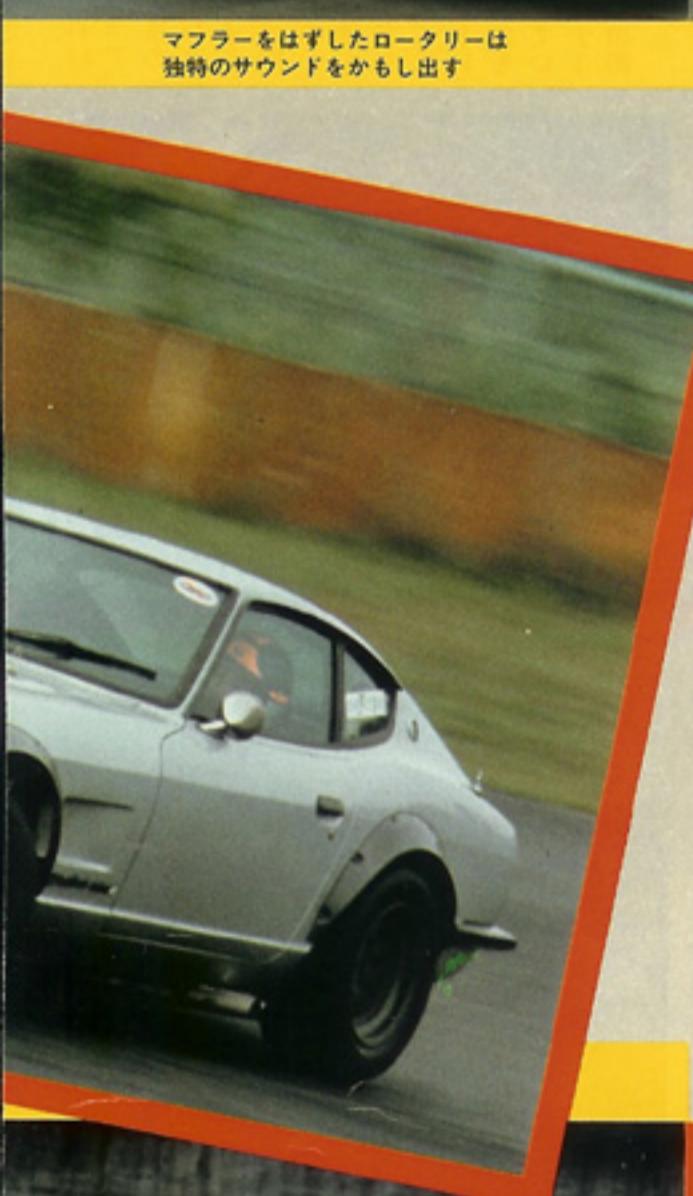




シルエットフォーミュラと並んで走るノーマルのRX-7の姿は迫力に欠けてしまうものだ



マフラーをはずしたロークリーは
独特のサウンドをかもし出す

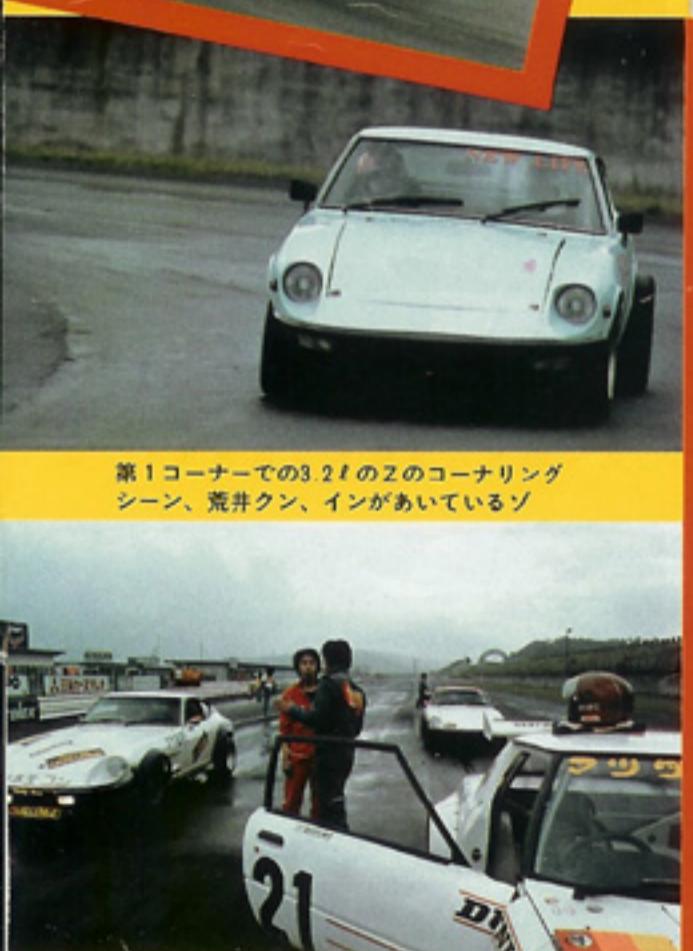


ヘアピンのイン側からみたグループ5マシンのサバンナRX-7。注意すべきことは、ほとんどロー
ルをしないクルマの安定性、それとニュートラルなステアリング性は、やはり純レーシングカー。

ガツでゼロヨンをイベントに 赤池卓

朝早くからトラックにマシンを積んでやつて来た熱意は買いたいな。とにかくガツツがある。しかし、ルールは絶対に守つてもらいたい。0~400mは社会のルールを守つてやるべきだ。きょうはそれを教えにきたんだ。みんなクルマには人に負けない情熱を持っているんだから、きょう集まつた連中が中心になつて、0~400mもイベントにしてゆくべきじゃないかな。アメリカや東南アジアでも0~400mはイベントとして盛んなんだ。きょう集まつた連中はガツツと情熱があるんだから、そうすべきだよ。

レースにはカネがかかると言うが、それは誤解だよ。みんないい車にカネをかけてるじゃないか。カネの使いみちをまちがつてると思う。年間100万円クルマにかけるんだつたら1レースや2レースは出れるし、安いレースなら5レースは参加できる。とにかく、みんなのガツツでイベント化することだと思う。



第1コーナーでの3.2fのZのコーナリング
シーン、荒井クン、インがあいているゾ



ヘアピン・イン側での3.1fのZ。フロント、リヤともにスリックタイヤをはいていた